

岐阜県

1. 商品名等

商品名	中津川 栗きんとんぷりん		
商品写真(イメージ等)			
商品説明(コンセプト等)	<p>「栗きんとん発祥の地・中津川」の魅力を、より多くの人に、より身近に届けることを目的に開発した新感覚スイーツです。</p> <p>「伝統を守る」だけでなく「新しい形で伝える」ことを目指し、和菓子の魅力と洋菓子の親しみやすさを融合させた商品です。</p> <p>“栗きんとん＝和菓子”という固定概念を越え、次世代へとつながる新たな地域ブランドの価値を発信する一品です。</p>		

2. 学校紹介

学校名	岐阜県立中津商業高等学校	電話	0573-66-1358
住所	岐阜県中津川市駒場大岩1646	FAX	0573-66-1359
担当者	伊藤 秀典	野口 晃寛	竹腰 大渡
URL	https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/nakatsu-chs/		
E-mail	p52238@gifu-net.ed.jp		
<p>岐阜県立中津商業高等学校は、商業教育を基盤とし、地域社会と連携した実践的な学びを推進している専門高校です。本校では、簿記・情報処理・商品開発と流通などの専門科目を通してビジネスの基礎を学ぶとともに、課題研究において、地域課題の解決や新たな価値創造に取り組んでいます。特に、地元中津川市や東濃地域の特産品を活用した商品開発や販売活動に力を入れており、生徒自らが市場調査、企画、試作、販売まで一貫して経験することで、実社会で求められる力を育成しています。</p> <p>歴史ある食文化や自然に恵まれた地域資源を活かしながら、地域とともに成長する学校として、主体的・協働的な学びの充実を図っています。</p>			

3. 実施科目等

科目名	課題研究・商品開発と流通	単位数	6単位
対象生徒	ビジネス科 流通コース	担当教員数	3名

4. 予算関係(費用)

商品開発に関わる費用は協力企業が負担

5. 開発経緯等

本プロジェクトは、「中津川を代表する『栗きんとん』の魅力を、より幅広い世代に伝えたい」という思いからスタートした。

まず、生徒たちは地域分析として、栗きんとんの市場やイメージについて調査を行った。その結果、「栗きんとん＝和菓子」という認識が強く、主な購買層が比較的高年齢層に偏っているという課題が明らかとなった。一方で、中津川市は「栗きんとん発祥の地」として高いブランド力を持っており、今後の交流人口の増加が期待される中で、新たな顧客層へ魅力を発信するための商品開発が必要であると考えた。そこで、「栗きんとんを軸としながら、若年層にも親しまれる商品を開発する」ことをテーマに設定し、商品の企画を進めた。開発にあたっては、過去の先輩が開発した濃厚和栗プリンをもとに改良を重ね、より「栗きんとんらしさ」と「新しさ」を両立させることを目指した。具体的には、従来の栗のトッピングから、栗きんとんムースをプリンの上に重ねることで、見た目のインパクトと味の一体感を高めた。また、容器を瓶に変更することで、贈答品としての価値や高級感の向上を図った。さらに、ターゲットを若年層や観光需要も見据えた層に広げ、手に取りやすく、写真映えする商品としての魅力も意識して改良を行った。完成した「栗きんとんぷりん」は、伝統的な栗きんとんの魅力を残しながらも、洋菓子としての親しみやすさを融合させた商品となり、従来のファンに加えて新たな顧客層への訴求を可能にした。

本取り組みは、地域ブランドの価値を再構築するとともに、伝統と革新を融合させた新たな商品開発を通して、中津川の魅力を次世代へと発信することを目的とした実践的な学びである。

6. 販売形態・期間

⑦

販売形態：日本郵政カタログ販売、地元のCafé、生徒によるイベント等での販売など
販売期間：令和7年9月1日～令和8年1月31日（日本郵政カタログ）
令和8年9月1日～令和8年2月28日（日本郵政カタログ）

7. 協力者等

⑦

- ・ドリームジャパン株式会社
- ・日本郵政株式会社

8. 商標登録の有無

⑧

9. 今後の課題・展望等

今後は、日本郵政のカタログ販売を軸とした販路拡大を目指し、商品を通じて中津川の魅力を全国へ発信していくことを展望としている。令和8年9月からの販売では、「栗きんとんぷりん」に加え、新たに開発した「おいもたっぷりん」も展開することで、季節や嗜好の違いに対応した商品ラインナップを構築し、継続的な購買につなげていきたい。試行錯誤を重ねながら改良を進めることで、中津川の魅力を毎年全国のお客様へ届け続ける商品へと発展させていきたい。